

話題提供: 今野泰三

(日本国際ボランティアセンター・パレスチナ現地代表)

パレスチナ・ガザ地区における
人道の危機と援助の現場

無料

7月30日(水)

午後1:30~3:30

大阪市立大学田中記念館

3階会議室

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

2005年のイスラエル入植地の撤収と、2007年のイスラーム主義抵抗運動ハマースによる制圧後、イスラエル軍によるガザ地区の封鎖は厳しさを増し、国際援助の大半が停止した。これにより、ガザ地区では、失業と貧困が蔓延し、停電と汚水垂れ流しが常態化し、未曾有の人道の危機が生じている。

発表者は、2012年から国際協力NGOの駐在員として、ガザ地区とヨルダン川西岸地区での支援活動に携わる傍ら、ガザ地区の住民組織と自治体に関する調査を進めてきた。その調査結果をもとに、国際政治と国際援助の交差点で翻弄されるガザの姿を紹介する。